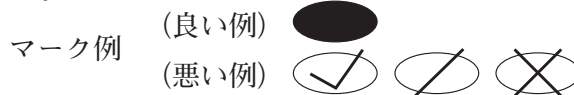


令和4年度（令和3年度実施）
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査
 筆記審査（専門教養）
 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
 商業

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、本冊子の裏表紙の<解答上の注意>をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問 基礎的・総合的科目とマーケティング，ビジネス経済分野について1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は，製品のライフサイクルについて述べたものである。に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

製品のライフサイクルにおいて，製品の売上高の伸びが鈍化し，寡占化の傾向がみられる時期をと呼ぶ。

a 衰退期 b 導入期 c 成熟期 d 成長期

(2) 次の文の下線部AとBは，どのような関係にあるか。下のa～cから一つ選びなさい。

ある_Aパソコン本体には，_B旧バージョンの基本ソフト(OS)がインストールされている。その状態で，パソコン本体をリユース業者に転売した。

a 主物と従物の関係 b 特定物と不特定物の関係 c 元物と果実の関係

(3) 次の文は，ある法律に定められた事項について述べたものである。該当する法律名を，下のa～cから一つ選びなさい。

製造物の欠陥により損害が生じた場合，製造物を製造した業者が，仮に無過失であっても損害賠償の責任が負わされる。

a 消費者基本法 b 製造物責任法 c 消費者契約法

(4) 次の文は，知的財産権について述べたものである。に該当する語句を，下のa～cから一つ選びなさい。

商品等の形状，構造又は組み合わせを変えることで技術的效果が生じる考案をし，特許庁で登録を受けたものに認められる権利をと呼ぶ。

a 実用新案権 b 特許権 c 意匠権

- (5) 知的財産権の一つである商標権について に該当する語句を、下の a～c から一つ選びなさい。

商標権は登録の日から を経過すると消滅するが、何回でも更新することができる。

- a 10年 b 20年 c 30年

2 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 財産権を表した証券である有価証券の組み合わせとして適切なものを、下の a～c から一つ選びなさい。

- a 商品券, 貨物引換証, 船荷証券
b 紙幣, 手形, 小切手
c 株券, 郵便切手, 預金証書

- (2) 法はさまざまな形で分類できる。公私混合法に該当する法律の組み合わせとして適切なものを、下の a～c から一つ選びなさい。

- a 公職選挙法, 商法
b 刑法, 民法
c 労働基準法, 独占禁止法

- (3) 次の①～③の文は、ある法律に定められた事項について述べたものである。該当する法律名の組み合わせとして正しいものを、下の a～c から一つ選びなさい。

- ① 憲法第27条第2項で規定された「賃金, 就業時間, 休息その他の勤労条件に関する基準は, 法律でこれを定める。」を受けて制定された法律。
② 労働者が団結したうえで, 団体交渉を通してその地位を向上させることを擁護, 助成する法律。
③ 労働争議の予防や解決を図ろうとする法律。

- a ① 労働基準法 ② 労働組合法 ③ 労働関係調整法
b ① 労働組合法 ② 労働基準法 ③ 労働契約法
c ① 労働基準法 ② 労働契約法 ③ 労働組合法

(4) 次の①～③の文は、法律における時効について述べたものである。時効に関する用語の組み合わせとして正しいものを、下の a～c から一つ選びなさい。

- ① 時効の成立には一定の事実状態の継続が必要であるが、継続を妨げるような事情が起これば、時効期間を再度、起算する必要があるが生じた。
 ② 時効期間の終わり近くに、時効を中断したくともできない事情が発生し、時効の完成が延期された。
 ③ 時効によって権利を取得する者や義務を免れる者が、裁判所で時効を主張した。

- a ① 時効の消滅 ② 時効の中断 ③ 時効の取得
 b ① 時効の中断 ② 時効の停止 ③ 時効の援用
 c ① 時効の停止 ② 時効の消滅 ③ 時効の援用

3 次の (1) ～ (4) の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、ダイレクト・マーケティングで用いられるメディアについて述べたものである。 に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。

テレビの視聴者などの購買行動を直接引き出すことを目的とした広告を と呼ぶ。

- a ダイレクト・レスポンス広告
 b テレマーケティング
 c e コマース
 d ダイレクト・メール

(2) 次の文は、商品陳列に関して述べたものである。 に該当する語句を、下の a～c から一つ選びなさい。

「新社会人生活」といったテーマをつくり、洋服売り場に陳列されるスーツをはじめ、名刺入れや腕時計、弁当箱など、一般的には異なる売り場に陳列される商品を同じ場所に陳列して販売する手法を と呼ぶ。

- a テストクロージング
 b ゴールデン・ライン
 c クロス・マーチャンダイジング

- (3) 高知商事株式会社は、仕入原価2,000円に利幅500円を加え、販売価格を2,500円に設定した。この時、値入率を求める計算式と計算結果の組み合わせとして適切なものを、下の a～c から一つ選びなさい。

a $\frac{¥500}{¥2,000} = 25\%$ b $\frac{¥500}{¥2,500} = 20\%$ c $\frac{¥2,000}{¥2,500} = 80\%$

- (4) 5箱につき ¥3,000 の商品を4,000箱仕入れ、諸掛り ¥100,000 を支払った。この商品に諸掛込原価の20%の利益を見込んで定価をつけたが、全体の1/3は定価の20%引きで販売し、残りは定価から ¥150,000 の値引きをして販売した。この商品全体の利益額はいくらか。 , , にあてはまる数字を答えなさい。

¥ ,000

第2問 会計分野について1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 ア

高知商事株式会社は、次の条件で発行した社債のうち、額面¥40,000,000を発行後5年目の初頭に、額面¥100につき¥97.90で買入償還し、当座預金口座から支払った。ただし、社債は償却原価法(定額法)によって評価している。

発行条件 額面総額 ¥80,000,000 払込金額 額面¥100につき¥97.40
償還期限 8年 利率 年0.8%

	借 方		貸 方	
a	社 債	39,480,000	当座預金	38,960,000
			社債償還益	520,000
b	社 債	39,160,000	当座預金	39,480,000
	社債償還損	320,000		
c	社 債	39,480,000	当座預金	39,160,000
			社債償還益	320,000
d	社 債	38,960,000	当座預金	39,160,000
	社債償還損	200,000		

(2) 次の取引の仕訳として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 イ

11月26日に土佐商店は、さきに売掛金の回収として受け取った南国商店振り出しの約束手形¥400,000(振出日 11月15日, 支払期日 12月25日, 支払場所 黒潮銀行 四万十支店)を取引銀行で割引引き、割引料を差し引かれ、手取り金を当座預金に預け入れた。なお、取引銀行の割引率は年7.3%である。

	借 方		貸 方	
a	当座預金	397,680	受取手形	400,000
	手形売却損	2,320		
b	当座預金	397,600	受取手形	400,000
	手形売却損	2,400		
c	当座預金	400,000	受取手形	397,600
			手形売却益	2,400
d	当座預金	400,000	受取手形	397,680
			手形売却益	2,320

(3) 次の取引の仕訳として正しいものを，下の a～d から一つ選びなさい。 ウ

かねて建設を依頼していた機械装置が完成し，引き渡しを受けたので，建設代金 ¥50,000,000のうち，すでに支払ってある ¥20,000,000を差し引いて，残額は小切手を振り出して支払った。なお，この機械装置の試運転費 ¥100,000を現金で支払った。

	借 方		貸 方	
a	機械装置	50,000,000	前払金	20,000,000
	試運転費	100,000	当座預金	30,000,000
			現金	100,000
b	機械装置	50,100,000	建設仮勘定	20,000,000
			当座預金	30,000,000
			現金	100,000
c	機械装置	50,000,000	建設仮勘定	20,000,000
	試運転費	100,000	当座預金	30,000,000
			現金	100,000
d	機械装置	50,100,000	前払金	20,000,000
			当座預金	30,000,000
			現金	100,000

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1)「正規の簿記の原則」について述べたものを、次のa～dから一つ選びなさい。

エ

- a 企業会計において、いったん採用した会計処理の原則及び手続きは、みだりに変更してはならない。
- b 企業会計は、すべての取引について、正確な会計帳簿を作成しなければならない。
- c 利用目的の違いから異なる形式の財務諸表を作成するときは、信頼しうる会計記録に基づいて作成し、実質同一でなければならない。
- d 勘定科目の性質や金額の大きさによっては、厳密な処理方法によらず、他の簡便な方法をとることも認められている。

(2) 次の資料から、売価還元法によって求められる期末商品棚卸高（原価）として適切な金額を、下のa～dから一つ選びなさい。 **オ**

資料

	原価	売価
i 期首商品棚卸高	¥1,000,000	¥1,500,000
ii 当期純仕入高	¥13,000,000	¥16,000,000
iii 期末商品棚卸高	<input type="checkbox"/> オ	¥1,000,000

a ¥800,000 b ¥900,000 c ¥1,000,000 d ¥1,200,000

- (3) 土佐商事株式会社は、令和3年3月31日に高知商店の発行する株式の60%を425,000千円で取得し支配した。次の資料により、支配獲得日から1年経過後の連結決算日に作成した連結損益計算書に計上するのれん償却の金額を、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、のれんは支配獲得後20年間にわたり、定額法によって每期均等額を償却する。 カ

資料

- 1) 支配獲得日における土地の時価は136,000千円であり、その他の資産と負債の時価は帳簿価額と等しいものとする。
2) 支配獲得日における貸借対照表

貸借対照表
令和3年3月31日

高知商店		(単位：千円)	
資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金 預 金	200,000	支 払 手 形	50,000
売 掛 金	150,000	買 掛 金	100,000
商 品	30,000	資 本 金	570,000
建 物	250,000	資 本 剰 余 金	88,000
備 品	80,000	利 益 剰 余 金	34,000
土 地	132,000		
	842,000		842,000

a ￥200 b ￥370 c ￥3,700 d ￥7,400

- 3 高知商事株式会社の下記の資料および比較貸借対照表と比較損益計算書によって、下の(1)～(4)の問いに答えなさい。

資料

- 1) 第1期の期首商品棚卸高は¥1,468,000である。
- 2) 第2期の売上高純利益率(当期純利益による)は2.5%である。
- 3) 第1期、第2期ともに商品評価損および棚卸減耗損は発生していない。

比較貸借対照表

資 産	第1期	第2期	負債・純資産	第1期	第2期
現金預金	740,000	716,000	支払手形	620,000	684,000
受取手形	920,000	862,000	買掛金	642,000	616,000
売掛金	850,000	764,000	短期借入金	390,000	()
有価証券	280,000	326,000	未払費用	28,000	50,000
商前払費用	1,372,000	1,760,000	未払法人税等	120,000	90,000
建物	680,000	()	社債	972,000	976,000
備用品	3,120,000	3,064,000	長期借入金	300,000	260,000
土地	600,000	568,000	退職給付引当金	744,000	760,000
投資有価証券	1,700,000	1,700,000	資本金	5,200,000	5,200,000
	530,000	540,000	資本剰余金	600,000	600,000
			利益剰余金	564,000	744,000
	10,180,000	()		10,180,000	()

比較損益計算書

項 目	第1期	第2期
売上高	17,750,000	18,792,000
売上原価	14,200,000	()
売上総利益	3,550,000	()
販売費及び一般管理費	2,738,000	3,827,000
営業利益	812,000	()
営業外収益	144,000	168,000
営業外費用	236,000	256,000
経常利益	720,000	()
特別損失	10,000	0
税引前当期純利益	710,000	()
法人税・住民税及び事業税	284,000	313,200
当期純利益	426,000	()

- (1) 第2期の固定負債合計として正しい金額を、次のa～dから一つ選びなさい。

キ

- a ¥1,020,000 b ¥1,300,000 c ¥1,996,000 d ¥2,136,000

(2) 第2期の売上高総利益率として正しい数値を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 15% b 20% c 25% d 30%

(3) 商品有高の平均と売上原価を用いて計算した商品回転率は、第1期は何回になるか。正しい数値を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 7回 b 8回 c 9回 d 10回

(4) 商品有高の平均と売上原価を用いて計算した商品回転率に基づいて考える時、第2期は第1期と比較して販売効率はどうようになったか。正しい見解を、次のa～cから一つ選びなさい。

- a 良くなった b 悪くなった c 変化は見られない

4 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳を、下のa～dから一つ選びなさい。

工場会計が独立している高知商事株式会社の本社は、決算に際し、建物の減価償却費¥1,908,000を計上した。ただし、このうち¥900,000は工場の建物に対するものであり、建物減価償却累計額勘定は本社のみで設けてある。(本社の仕訳)

	借 方		貸 方	
a	減 価 償 却 費	1,908,000	建物減価償却累計額	1,908,000
b	減 価 償 却 費	1,008,000	減価償却累計額	1,908,000
	本 社	900,000		
c	減 価 償 却 費	1,008,000	建物減価償却累計額	1,908,000
	工 場	900,000		
d	減 価 償 却 費	1,908,000	建物減価償却累計額	1,008,000
			工 場	900,000

- (2) 標準原価計算を採用している高知製作所の当月における下記の資料から、「月末仕掛品の標準原価」「操業度差異」の金額を求め、正しいものをそれぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

月末仕掛品の標準原価

操業度差異

資料

① 標準原価カード

A 製品			
標準原価カード			
	標準消費数量	標準単価	金額
直接材料費	8kg	¥200	¥1,600
	標準直接作業時間	標準賃率	
直接労務費	2時間	¥1,000	¥2,000
	標準直接作業時間	標準配賦率	
製造間接費	2時間	¥800	¥1,600
	製品1個あたりの標準原価		<u>¥5,200</u>

② 生産データ

月初仕掛品 100個 (加工進捗度50%)
 当月投入 500個
 合計 600個
 月末仕掛品 200個 (加工進捗度40%)
 完成品 400個

③ 製造間接費実際発生額 ¥800,000

④ 実際直接作業時間 970時間

⑤ 製造間接費予算 (公式法変動予算)

基準操業度 (直接作業時間) 1,000時間

製造間接費予算額 ¥800,000

変動費率 ¥500

固定費予算額 ¥300,000

a ¥608,000 b ¥1,040,000 c ¥1,280,000
 d ¥1,320,000

a ¥3,000 b ¥6,000 c - ¥6,000 d - ¥9,000

- (3) 高知製作所は、A製品を1個当たり¥8,000で販売している。この製品を2,250個製造・販売した時の、直接原価計算による損益計算書は下記のとおりである。「損益分岐点の売上高」「目標営業利益¥1,800,000を達成するための販売数量」の金額または数量として正しいものを、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

損益分岐点の売上高

目標営業利益¥1,800,000を達成するための販売数量

損益計算書			
高知製作所			
I	売上高		¥18,000,000
II	変動売上原価		¥9,720,000
	変動製造マージン		¥8,280,000
III	変動販売費		¥1,800,000
	貢献利益		¥6,480,000
IV	固定費		
	1. 固定製造間接費	¥1,200,000	
	2. 固定販売費及び一般管理費	¥600,000	¥1,800,000
	営業利益		<u>¥4,680,000</u>

a ¥3,000,000 b ¥4,000,000 c ¥5,000,000
d ¥6,000,000

a 1,000個 b 1,250個 c 1,300個 d 1,350個

2 次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

- (1) 次の「通学手段一覧表」に対して、下の①～③のSQL文によって抽出されるデータ、または、実行結果として正しいものを、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

通学手段一覧表

出席No	居住区市町村	通学時間	通学手段
1	高知市	20	自転車
2	土佐市	15	徒歩
3	土佐市	20	自転車
4	高知市	15	バス
5	高知市	15	自転車
6	土佐市	20	バス
7	高知市	9	自転車
8	高知市	35	自転車
9	土佐市	24	徒歩
10	土佐市	10	自転車
11	南国市	30	電車
12	南国市	40	電車
13	高知市	37	バス
14	南国市	60	電車
15	安芸市	45	自転車
16	安芸市	43	電車
17	安芸市	48	電車
18	南国市	65	電車
19	南国市	55	電車
20	高知市	39	電車

- ① SELECT 出席 No,居住区市町村,通学時間,通学手段
FROM 通学手段一覧表
WHERE 居住区市町村= '高知市' AND 通学手段= '自転車'
- ② SELECT 居住区市町村,通学時間,通学手段
FROM 通学手段一覧表
WHERE 通学時間 BETWEEN 30 AND 40
- ③ SELECT COUNT (*) AS 人数
FROM 通学手段一覧表
WHERE 通学手段 = 自転車

キ

ク

ケ

a

出席No	居住区市町村	通学時間	通学手段
1	高知市	20	自転車
5	高知市	15	自転車
7	高知市	9	自転車
8	高知市	35	自転車

b

居住区市町村	通学時間	通学手段
高知市	35	自転車
南国市	30	電車
南国市	40	電車
高知市	37	バス
高知市	39	電車

c

出席No	居住区市町村	通学時間	通学手段
1	高知市	20	自転車
8	高知市	35	自転車
13	高知市	37	バス
20	高知市	39	電車

d 7

e 8

(2) 次の1学期進路希望調査結果と、2学期進路希望調査結果の積集合をとった場合、結果表として正しいものを、下のa～cから一つ選びなさい。

□

1学期進路希望調査結果

学籍番号	進路希望
1101	大学
1102	短大
1103	専門学校
1104	就職
1105	未定
1106	大学
1107	短大
1108	専門学校
1109	就職
1110	未定

2学期進路希望調査結果

学籍番号	進路希望
1101	大学
1103	専門学校
1106	大学
1107	短大
1108	専門学校
1110	未定

a 結果表

学籍番号	進路希望
1102	短大
1104	就職
1105	未定
1109	就職

b 結果表

学籍番号	進路希望
1101	大学
1102	短大
1103	専門学校
1104	就職
1105	未定
1106	大学
1107	短大
1108	専門学校
1109	就職
1110	未定

c 結果表

学籍番号	進路希望
1101	大学
1103	専門学校
1106	大学
1107	短大
1108	専門学校
1110	未定

3 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の表は、ある駐車場の利用状況を一覧にしたものである。駐車場利用集計表のE列「利用料金」は、C列の「市内／市外」とD列の「駐車場No.」の値をもとにして、駐車場料金表を参照して求める。E4に設定する式として適切なものを、a～dから一つ選びなさい。ただし、E4に設定する式をE5～E16にコピーするものとする。

サ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1			駐車場利用集計表							
2							駐車場料金表			
3	No.	利用者名	市内／市外 市内は1、市外は2	駐車場 No.	利用料金			第1駐車場	第2駐車場	第3駐車場
4	1	A	2	3	¥8,000		駐車場 No.	1	2	3
5	2	B	2	1	¥12,000		市内 1	¥8,000	¥7,000	¥6,000
6	3	C	1	3	¥6,000		市外 2	¥12,000	¥10,000	¥8,000
7	4	D	2	1	¥12,000					
8	5	E	1	3	¥6,000					
9	6	F	2	3	¥8,000					
10	7	G	1	3	¥6,000					
11	8	H	2	2	¥10,000					
12	9	I	1	3	¥6,000					
13	10	J	1	1	¥8,000					
14	11	K	2	2	¥10,000					
15	12	L	2	3	¥8,000					
16	13	M	2	2	¥10,000					
17										
18										

- a =INDEX(\$H\$5:\$J\$6,C4,D4) b =INDEX(\$H\$5:\$J\$6,D4,C4)
 c =VLOOKUP(\$H\$5:\$J\$6,C4,D4) d =VLOOKUP(\$H\$5:\$J\$6,D4,C4)

- (2) 次の表は、ある検定試験の受験を申し込んだ生徒を、申し込み順で一覧にしたものである。F4とF5のセルでは、申込者数を普通科、商業科別にカウントしている。各学年のA組とB組は普通科、C組は商業科であるとき、F4のセルに普通科の検定申込者数をカウントする適切な式を、下のa～cから一つ選びなさい。

シ

	A	B	C	D	E	F
1						
2	検定試験申込者一覧表			学科別集計表		
3	クラス	出席番号	氏名	学年	申込者数	
4	1A	7	A	普通科	10	
5	2A	17	B	商業科	4	
6	2C	29	C			
7	1C	8	D			
8	1A	3	E			
9	2B	1	F			
10	1A	14	G			
11	2A	27	H			
12	2C	17	I			
13	1C	22	J			
14	1A	29	K			
15	2A	17	L			
16	2B	6	M			
17	3A	3	N			
18						

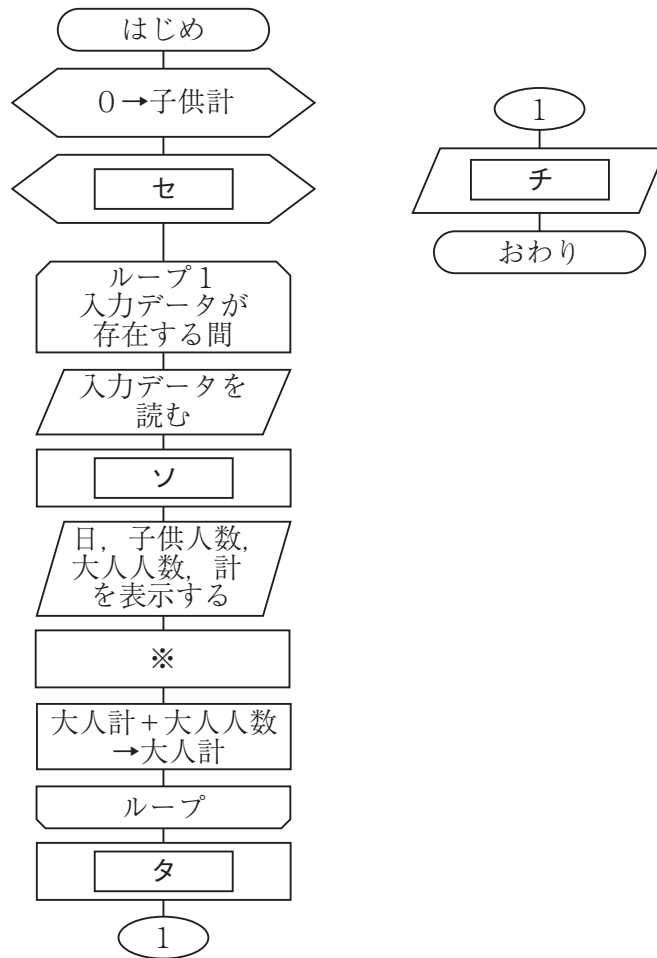
- a =COUNTIF(\$A\$4:\$A\$17,"*"&"A")+COUNTIF(\$A\$4:\$A\$17,"*"&"B")
 b =COUNTIF(\$A\$4:\$A\$17,"*"+"A")+COUNTIF(\$A\$4:\$A\$17,"*"+"B")
 c =COUNTIF(\$A\$4:\$A\$17,"?"*"A")+COUNTIF(\$A\$4:\$A\$17,"?"*"B")

- (3) 次の表は、あるパソコンショップの見積書である。A列に入力された販売コードをもとに、商品価格表を参照して、B列の「品名」とD列の「単価」を表示する。B4に設定する式として適切なものを、a～cから一つ選びなさい。ただし、A列の販売コードが未入力の際は何も表示せず、また、B4に設定する式をB5～B8にコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	御見積書								
2									
3	販売コード	品名	数量	単価	金額				
4	1001Ca05	PC-101	2	98,000	¥196,000				
5	1005Ch07	DP-201	2	38,000	¥76,000				
6									
7									
8									
9				合計	¥272,000				
10									
11						商品価格表			
12						商品コード	品名	単価	
13						Ca	PC-101	¥98,000	
14						Ch	DP-201	¥38,000	
15						Co	PR-303	¥25,000	

- a =IF(A4="", "", VLOOKUP(MID(A4, FIND("C", A4), 2), \$F\$13:\$H\$15, 2))
 b =IF(A4="", "", VLOOKUP(MID(A4, FIND(A4, "C"), 2), \$F\$13:\$H\$15, 2))
 c =IF(A4="", "", VLOOKUP(MID(A4, SEARCH(A4, "C"), 2), \$F\$13:\$H\$15, 2))

4 以下の流れ図にしたがって処理するとき、流れ図の **セ** ~ **チ** にあてはまる答えを、それぞれ下の a ~ e から一つずつ選びなさい。



処理内容

ある動物園の1ヶ月間の入場者データを読み、処理条件にしたがって第2図のように表示したい。

入力データ

日 ××	子供人数 ×, ×××	大人人数 ×, ×××	(第1図)
---------	----------------	----------------	-------

実行結果

(日)	(子供人数)	(大人人数)	(計)
××	×, ×××	×, ×××	×, ×××
∫	∫	∫	∫
××	×, ×××	×, ×××	×, ×××
(合計)	××,×××	××,×××	××,×××

(第2図)

(注) ×は数値を示す

処理条件

- 1 子供人数と大人人数の計を求める。
- 2 入力データが終了したら、子供人数, 大人人数, 計について, それぞれの合計をディスプレイに表示する。
 - a 子供人数 + 大人人数 → 計
 - b 子供計, 大人計, 合計を表示する
 - c 0 → 大人計
 - d 合計 + 計 → 合計
 - e 子供計 + 大人計 → 合計

【選択問題 高等学校】

第4問 高等学校学習指導要領 商業（平成30年3月告示）について1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「総合実践」の「内容の取扱い」に関するものである。 , に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。
-

ア 商業の各分野の学習に関連する職業や業務に関して、 と連携して具体的な実務について理解を深める学習活動及び実務に即して知識、技術などを総合的に活用する学習活動を通して、ビジネスを担う当事者としての意識を高めるとともに、 に対応することができるようにすること。

- a ① 金融業，流通業等 ② ビジネス情報に関する実践
 b ① 地域や産業界等 ② ビジネス情報に関する実践
 c ① 地域や産業界等 ② ビジネスの実務
 d ① 金融業，流通業等 ② ビジネスの実務

- 2 次の文は、「ビジネス・コミュニケーション」の「内容の取扱い」に関するものである。 , に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

ア ビジネスの場面を想定したコミュニケーションに関する な学習活動を充実させるとともに、身に付けた知識、技術などを様々な学習活動の中で活用する機会を設けるなどして、ビジネスにおいて コミュニケーションを図ることができるようにすること。

- a ① 実践的・体験的
 ② 円滑に
 b ① 人的ネットワークの構築に対する意識を高めるよう
 ② 平易な外国語を用いて
 c ① 実践的・体験的
 ② 平易な外国語を用いて
 d ① 人的ネットワークの構築に対する意識を高めるよう
 ② 円滑に

- 3 次の文は、「観光ビジネス」の「内容の取扱い」に関するものである。 ,
 に入る適切な語の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。

ア 観光ビジネスの動向・課題を捉える学習活動及び観光ビジネスに関する具体的な事例について 分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、企業で行われている観光ビジネスについて理解を深めることができるようにすること。

イ 観光ビジネスに関する理論を実験などにより確認する学習活動及び観光ビジネスに関する具体的な課題を設定し、 に基づいて観光の振興策を考案して提案などを行う学習活動を通して、観光ビジネスに適切に取り組むことができるようにすること。

- | | | | | |
|---|---|-------------------|---|--------------|
| a | ① | ビジネスに関わる様々な立場に立って | ② | 科学的な根拠 |
| b | ① | 多面的・多角的に | ② | 観光ビジネスに関する理論 |
| c | ① | ビジネスに関わる様々な立場に立って | ② | 観光ビジネスに関する理論 |
| d | ① | 多面的・多角的に | ② | 科学的な根拠 |

- 4 次の文は、「プログラミング」の「内容」に挙げられている指導項目である。 ,
 , に入る適切な語の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。

- (1) 情報システムと
- (2) ハードウェアとソフトウェア
- (3)
- (4) プログラムと の開発

- | | | | | | | |
|---|---|---------|---|------------|---|---------|
| a | ① | プログラム言語 | ② | アルゴリズム | ③ | 情報コンテンツ |
| b | ① | プログラミング | ② | アルゴリズム | ③ | 情報システム |
| c | ① | プログラム言語 | ② | 情報通信ネットワーク | ③ | 情報システム |
| d | ① | プログラミング | ② | 情報通信ネットワーク | ③ | 情報コンテンツ |

5 次の文は、「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の配慮事項に関するものである。□①□, □②□に入る適切な語の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。□オ□

(1) 略

(2) 商業に関する各学科においては、「□①□」及び「□②□」を原則として全ての生徒に履修させること。

(3) ～ (5) 略

- | | | |
|---|----------|-----------|
| a | ① ビジネス基礎 | ② 課題研究 |
| b | ① 総合実践 | ② プログラミング |
| c | ① ビジネス基礎 | ② プログラミング |
| d | ① 総合実践 | ② 課題研究 |

【選択問題 特別支援学校】

第4問

- 1 特別支援学校の対象となる障害の程度は、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3で、次の表のとおり定められている。それぞれの障害の程度について、～に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="ア"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="イ"/> デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも
知的障害者	一 知的発達が遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のも 二 知的発達遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="ウ"/> への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における <input type="text" value="エ"/> が不可能又は困難な程度のも 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のも 二 身体虚弱の状態が継続して <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のも

a 0.1 b 0.2 c 0.3 d 0.4

a 50 b 60 c 70 d 80

a 家庭生活 b 学校生活 c 社会生活
d 職業生活

a 連続的な動作 b 初歩的な動作 c 基本的な動作
d 目的的な動作

a 生活規制 b 運動規制 c 生活の管理
d 体調の管理

- 2 次の文は、中央教育審議会（答申）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(4) 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

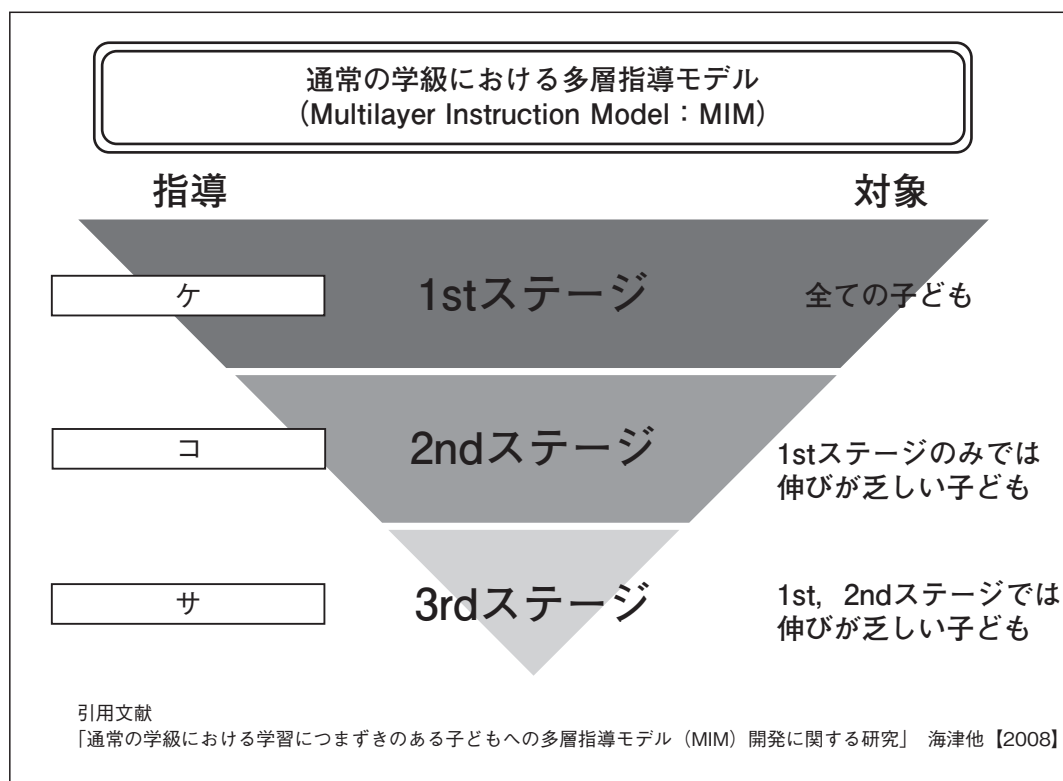
○特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。そのため、早期からのキャリア教育では、保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や、 を高める経験、産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから、その実施に当たっては、地域の 関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

a 家庭 b 福祉 c 社会 d 企業

a 倫理観 b 自己肯定感 c 生活能力 d メタ認知能力

a 医療 b 就労 c 保健 d 福祉

- 3 高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』（平成25年3月）において，次の図は，通常の学級における多層指導モデルとして示されている。図の ～ に当てはまる語句を，下の a ～ d から一つずつ選びなさい。



- a 通常の学級内での補足的な指導
- b 補足的・集中的・柔軟な形態によるサービスの指導
- c 通常の学級内での効果的な指導
- d 補足的・集中的・柔軟な形態による特化した指導



<解答上の注意>

出題内容により解答方式が異なります。問題の「ア」, 「イウ」などには, 数字 (0~9), 小数点 (.), 符号 (-, ±), 又は文字 (a, b, c, d, e) が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …のそれぞれが, これらのいずれかに対応します。下の (例1) ~ (例4) に従って解答欄をマークしてください。

(例1) 「アイ」に 12 と答えたい場合

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例2) 「ウ」に b と答えたい場合

ウ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(例3) 「エオ」, 「カキ」に 34.56 と答えたい場合

エ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
オ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
カ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
キ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例4) 「クケ」に 7 と答えたい場合

ク	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

6 筆記審査 (専門教養) が終了した後, 解答用紙 (マークシート) のみ回収します。監督者から指示があれば, この問題冊子を, 各自, 持ち帰ってください。

